

2020年 佐倉市 10大ニュース

令和2年12月

(順不同)

【新型コロナウイルス感染症 感染症対策など】

- 佐倉市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置（4月8日）
- 佐倉市業務継続計画を発動（4月15日）
- 市内イベントの多くが中止に
- 市独自の支援策を実施
- 市ホームページの特設サイト「ほっとすまいる」を開設
- 多くの方々からの温かい支援（マスク、消毒薬など）
- 印旛市郡医師会PCR検査センターの設置（5月28日）

【佐倉市消防団 国から表彰される】

昨年9月から10月にかけて、千葉県を襲った令和元年房総半島台風・令和元年東日本台風などでは、1,543人の消防団員が、市内各所の倒木撤去をはじめ、飛散物の撤去、給水活動、管轄区域の巡視、広報活動などを行いました。

人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした功績が認められ、国から表彰されました。

- 令和元年度水防功労者国土交通大臣表彰（2月10日）
- 令和元年度防災功労者消防庁長官表彰（3月9日）
- 令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰（9月1日）

【小出義雄記念陸上競技場除幕式

（岩名運動公園陸上競技場の名称変更）】（2月15日）

岩名運動公園を拠点として、世界で活躍する多くの陸上選手を育成し、また、佐倉市のスポーツ振興に多大な貢献をされた、小出義雄氏（佐倉市市民栄誉賞受賞者）。小出氏の生前の業績や、市への貢献を後世に伝えるため、岩名運動公園陸上競技場の名称が「小出義雄記念陸上競技場」に改められました。

2月15日には、小出氏にゆかりのある方や、市民などが集まり、名称変更の除幕式が行われました。

【佐倉市サムライRPG「天倫の桜」がリリース】（3月20日）

佐倉市を舞台とした、スマートフォンのロールプレイングゲームアプリ「天倫の桜」をリリースしました。このゲームは、ユーカリが丘にある市のシェアオフィス「コラボサクラ」を拠点として、株式会社 equo が地域創生への取り組みの一環で、約1年かけて制作しました。

【「桜に染まるまち、佐倉」キャンペーン】（3月20日～4月12日）

佐倉市と京成電鉄とが連携し、観光キャンペーン「桜に染まるまち、佐倉」を開催しました。

イメージキャラクターは、佐倉高校出身の人気モデル、村田倫子さん。キャンペーン期間中、市役所は「桜市役所」に、城址公園は「桜城址公園」、京成佐倉駅は「京成桜駅」へと変わり、市内店舗では、期間限定の桜にちなんだメニューが提供されました。

【「第5次佐倉市総合計画」がスタート】（4月1日）

令和2年度から令和13年度まで、12年間のまちづくりの新たな指針となる第5次佐倉市総合計画がスタートしました。

佐倉市は「歴史」「自然」「文化」という誇るべき特性を有しています。これらの特性を生かし、市民が主体となって、さらなるまちの発展を目指すため、将来都市像を『笑顔輝き 佐倉 咲く みんなで創ろう 「健康・安心・未来都市」』と決めました。

【旧佐倉市立志津小学校青菅分校校舎が国登録有形文化財（建造物）として答申】（7月17日）

7月17日、国の文化審議会は、「旧佐倉市立志津小学校青菅分校校舎」を国の登録有形文化財とするよう文部科学大臣に答申しました。

青菅分校は志津地区北部の青菅に位置し、志津小学校分校として昭和30年に建築されました。戦後の建築ながら、戦前からの木造校舎の意匠を引き継いでいます。こうした木造校舎は解体されることがほとんどである中で、大きな改修もされず残る貴重な学校建築です。

【線路わきの崖に住み着き、注目を集めたヤギのポニョが、佐倉草ぶえの丘で一般公開】（8月29日）

5月中旬から、京成線の線路沿いの急斜面に迷い込み、8月11日に無事保護された子ヤギを、佐倉草ぶえの丘で飼育することになりました。

「ポニョ」と名づけられた子ヤギは、8月29日に佐倉草ぶえの丘で一般公開され、ポニョに会うためにたくさんの方が訪れました。

【佐倉市初のふるさと納税型クラウドファンディング「佐倉市版WE ラブ 赤ちゃんプロジェクト」の実施】（11月2日）

「佐倉市版WEラブ赤ちゃんプロジェクト」は、ポスターやステッカー、キーホルダーなどの市オリジナルグッズを活用して、赤ちゃんの泣き声に理解を示す気持ちや、赤ちゃん・ママ・パパを温かく見守っている人やお店を「見える化」することにより、地域全体で子どもを育む環境づくりを推進しようとするものです。

また、このプロジェクトに必要な「市オリジナルグッズ」の制作などにかかる費用を、本市初の「ふるさと納税型クラウドファンディング」によって調達します。

このプロジェクトを実施することにより、多くの方から共感・賛同を得ながら、佐倉市民一人ひとりが、当たり前のように赤ちゃんの泣き声を温かく見守ることができる地域社会づくりに繋がっていきます。

【協定の締結】

○企業・団体などと災害時の協力体制を強化

災害時の物資供給や応急対策について、民間事業者などと12の協定を締結しました。

○健康づくりに関することなどで連携協定

- ・中外製薬株式会社と、生活習慣病、がん予防・啓発、骨粗しょう症に関する知識の普及・啓発などに関し、協定を締結。
- ・岩瀬薬品(株)と、市民の健康づくり、市民の見守りサービスなどに関し、協定を締結。

○安心な暮らしの実現などで連携協定

日本生命保険相互会社船橋支社と、高齢者の安心な暮らしの実現や健康増進・疾病予防、子育ておよび児童・青少年の健全育成などの分野で、連携協力に関する包括協定を締結。